



元気な班活動をすすめていこう

班長・班活動交流集会に97名が参加

2/9(水)班長・班交流集会が、市中央コミュニティセンターで行ないました。木下副理事長の開会のあいさつ後、父川本部事務局員から、71班から寄せられた班長アンケートの集計をもとに、班の重要性について報告しました。報告後、6班の班長さんが壇上にあがり、パネルディスカッションを行い、それぞれの班の特徴などについて報告しました。

海南海草支部のおしゃべりっ子班の班長さんは、班会を続けるコツは、「楽しく」「明るく」「おいしく」を



モットーに班活動を紹介

ました。貴志川支部の長山班の班長さんは、通信教育「地域で元気をつくる班長コース」を学び、医療生協を必要される班づくりにとりくみたいと発言されました。のぎき支部のなでしこ班の班長さんは、ゴキブリ団子づくりや減塩味噌づくりなど、年間計画をたて班運営していると報告されました。広瀬支部のあじさい班の班長さんは、15人前後が参加するセラバンドで健康づくりを行ないながら、健康チェックと積立増資は毎月行なっ

いと報告されました。また、班会の魅力は、班会には老若男女が集まり、人生の先輩たちが、生活の知恵などが交流できることがすばらしいと報告しました。本町城北支部百の会班の班長さんは、高齢化がすすむなかで、仲良く班活動をすすめていることや、シニアエクササイズにもとりこんでいることなどが紹介されました。四ヶ郷支部ほのか班の班長さんは、つどいの家を開設して、地域のひとりぐらしのたまり場として運営しながら、組合員ふやしや健康チェックを行なっていることが紹介され、将来はこどもさんらも集まってこれるような場にしたいと夢も語られました。

パネルディスカッションでは、司会者から仲間ふやしや院所利用についての意見を求めた中、「班会に友だちが友だちを誘ってきてくれる。」「楽しい班会を続けていけば、楽しいから医療生協に入ろうやとすすめられる」などの意見が出されました。6つの班の報告は、今後の班活動を進めていく上で、貴重な学びとなりました。

分散会でも活発な議論が

分散会は、5つに分かれ班活動をすすめていくための、経験や日頃疑問に感じていることなどが活発に交流されました。班会を楽しむ場にする、活発に行なっている班では班会内容などが工夫されていること。また、班会を開催していく上で、会場確保や費用で悩みなどが出されました。概ね、班活動の内容についての意見交流しました。

集会後の感想では、「どんな交流会かと思って参加したが、いろんな問題や良いところいっぱい学べたので、ぜひ定期的に開催してほしい。」

「パネルディスカッションから一歩深く各班の状況がわかり、自分の支部ならと描くことができ、楽しかった。」「新しく班を造ることの意味がわかり、希望につながった。」など、たくさんの感想が寄せられました。



2010年度仲間ふやし状況

	東地区			中地区			南地区			河西地区			那賀地区			海南海草地区			その他			計		
	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残
4/1~12/31	500	304	196	100	16	84	100	57	43	100	51	49	100	46	54	70	54	16	30	31	0	1000	559	441
1/1~3/1現在		18	178		2	82		2	41		8	41		3	51		1	15		1	0		35	406
2/1~1/4現在		7	171		0	82		7	35		2	39		1	50		1	14		0	0		18	388
計		329	171		18	82		66	35		61	39		50	50		56	14		32	0		612	388